

2014年7月2日(水曜日)の東京新聞に 食パンの耳プロジェクトが紹介されました。

メロポリタン

敷地は六千六百平方
があり、六十台余の駐
車スペースを確保。敷
地内では近くの授産施
設が野菜の産直販売の
店を出す。秋元社長は
敷地に広いトイレも設

敷地は六千六百平方
があり、六十台余の駐
車スペースを確保。敷
地内では近くの授産施
設が野菜の産直販売の
店を出す。秋元社長は
敷地に広いトイレも設

東北復興など 栃木の会社

食パン代金から



秋元義彦社長

新店舗は本社近くの
国道4号沿いに開いた
「石窯パン工房『きら
むぎ』」。木造「階建
て延べ約二百五十平方
びで、スペイン製石窯
で焼いたパンを提供す
る。「耳プロジェクト



パン・アキモトの新店舗「きらむぎ」(秋元社長提供)

パンの3.3%で貢献を

みみ

栃木県那須塩原市のパン製造販売会社「パン・アキモト」の秋元
義彦社長(左)が、六月二十日にオープンした新店舗で今月から、
「三」の付く日に食パンを購入すると代金の3.3%を東北復興や
世界の飢餓地域への支援金に送る「食パンの耳プロジェクト」を始
める。秋元社長は「新店を契機に新しい社会貢献をやろうと考え
た」と語る。
(編集委員・小寺勝美)

置し、他の業者の参入
も得て『民間道の駅』
にしたい」と将来像を
語った。
同社は独自に開発し
た焼きたての状態で食
べられるパンの缶詰を
活用した「救缶鳥プロ
ジェクト」を行っている。
缶詰を購入した自
治体や企業などから消
費期限一年前に下取り
回収、新品を割引して
納めて下取り品はNG
Oを通じて発展途上国
に送るシステム。また
定期的な東北復興応援
や内外の大災害でも支
援活動をしている。